

避難地域 12 市町村における特色ある教育に関する教員研修

「避難地域12市町村における特色ある教育に関する教員研修」を開催した。
本研修では、震災・復興に関する学びと特別支援教育に関する理解を深めることを目的として、施設見学、講演及びラウンドテーブルを実施しました。

日 時	場 所
令和8年9月28日（月）10:00～16:10	東日本大震災・原子力災害伝承館 福島県復興祈念公園
参加人数	主 催
① 12市町村の市町村立小・中・義務教育学校教員 ② 域内の特別支援学校教員 ③ ふたば未来学園中学校 ④ 避難地域12市町村教育委員会指導主事等 ⑤ その他、希望する教員等 計70名（オンライン参加含む）	福島県教育庁 共催：福島イノベーション・コースト構想推進機構



「避難地域12市町村における特色ある教育に関する教員研修」として開催した本研修は、教員の資質向上に加え、震災や復興について学び、理解を深めることを目的の一つとして実施しました。午前の部では、東日本大震災・原子力災害伝承館を見学するとともに、福島大学特任講師の久保田彩乃氏を講師に迎え、「過去を知り、今を捉え、未来を考える」をテーマとして、相双地域の地域メディアを題材にした探究学習の進め方についてお話しいただきました。午後の部では、今年度開園した福島県復興祈念公園の会議室に会場を移し、「通常学級に在籍する特別支援を要する児童生徒への支援の在り方について」をテーマとしたラウンドテーブルを実施しました。その後、文部科学省初等中等教育局視学官（併）特別支援教育課特別支援教育調査官の菅野和彦氏を講師に迎え、同テーマについてご講演いただきました。